

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2006-106052

(P2006-106052A)

(43) 公開日 平成18年4月20日(2006.4.20)

(51) Int. Cl.	F 1	テーマコード (参考)
G02B 6/00 (2006.01)	G02B 6/00 336	2H038
G02B 6/02 (2006.01)	G02B 6/10 C	2H050

審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 13 頁)

(21) 出願番号	特願2004-288519 (P2004-288519)	(71) 出願人	502012705 伸興電線株式会社 香川県さぬき市志度1298番地12
(22) 出願日	平成16年9月30日(2004.9.30)	(71) 出願人	592167411 香川県 香川県高松市番町4丁目1番10号
		(72) 発明者	岩田 弘 香川県三豊郡三野町大字大見甲1048-1
		(72) 発明者	江島 正毅 香川県高松市林町2217-20 香川大 学工学部内
		(72) 発明者	須崎 嘉文 香川県高松市林町2217-20 香川大 学工学部内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 フローティングクランプ機構およびフローティングクランプ

(57) 【要約】

【目的】 光ファイバーに位相マスクを介して紫外線レーザー光を照射しファイバークレーティングを形成する工程で、光ファイバーの位置ズレを起さないクランプを提供する。

【解決手段】 従来型クランプでは光ファイバーは頑丈に固定されているが、本発明では、光ファイバーに自由度を持たせるため、バネからなる弾性体を介して保持してフローティング状態にして、光ファイバーの熱膨張伸縮による位置ズレや外部からの振動による位置ズレをバネに吸収させて、ファイバークレーティングの位置を常に自動的に補正させる。

【選択図】 図4

